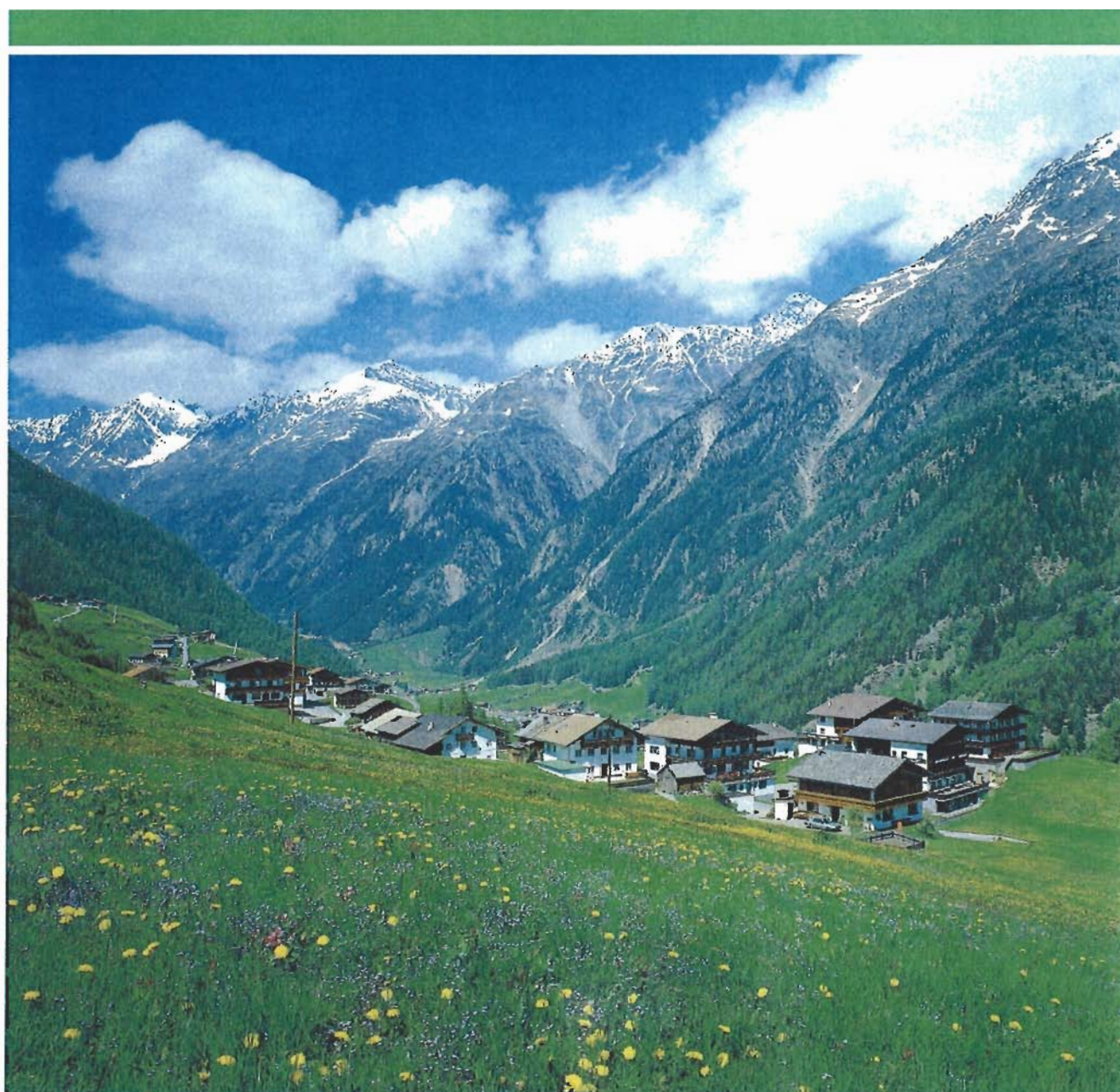


エポキシ樹脂

ALPRON

NICHIBEIRESIN ALPRON

Sシリーズ



 日米レジン株式会社

アルプロン S-110

弾性エポキシ樹脂接着剤

アルプロンS-110は接着力に優れたエポキシ樹脂をベースに可とう性、弾性化をはかり開発しましたエポキシ樹脂系の弾性接着剤です。各種接着及び土木建築コーキング等に広い分野でご利用頂けます。

特長

1. 硬化物は弾性、可撓性があります。
2. 接着性が優れています。
3. 耐衝撃性、耐振動性があります。
4. 膨張、収縮に対して追従性があります。

用途

1. 動きが予想される部材の接着。
2. 熱膨張の異なる材質の接着。
3. コンクリートブロック（車止めブロック）とアスコンとの接着。
4. 表層の弱い材料の接着。

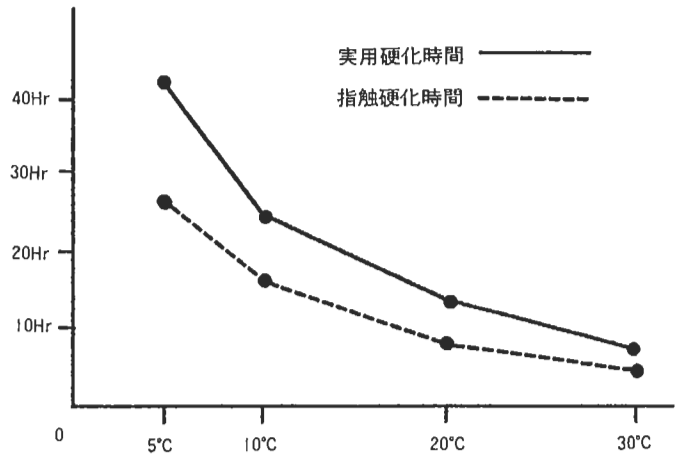
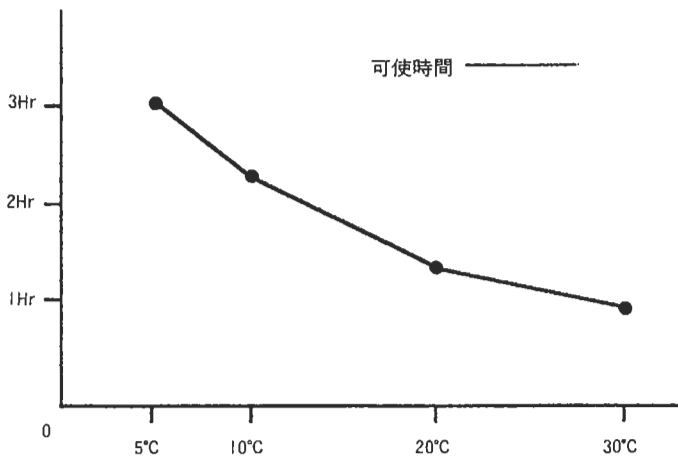
性状

	主 剤 (A液)	硬化剤 (B液)
主 成 分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外 観	白色クリーム状	暗灰色クリーム状
配合比(重量)	2 : 1	
比 重	1.58	1.52
	1.56	
可 使 時 間	80分 (20°C 1 kg)	
指触硬化時間	10時間 (20°C 10 %厚)	
実用硬化時間	16時間 (20°C 10 %厚)	

施工手順

1. 施工面のゴミ、ホコリ、錆、油、塗料、水分等を除去、清掃します。
2. プライマー（アルプロンW-305又はW-301）を薄く塗布し乾燥させます。
3. アルプロンS-110のA液、B液を重量比で2：1の割合で計量します。
4. 攪拌機等でA液、B液がよく混合するよう充分攪拌します。
5. 弾性効果を保持するためコテ、ヘラ等で厚め（1mm以上）に塗布します。

可使用時間及び指触硬化時間



物性

試験項目	試験結果	試験方法
引張強さ 伸び	2.2N/mm ² {22kgf/cm ² } 110 %	JIS K 6301 2号ダンベル50mm/分
圧縮強さ	0.5N/mm ² {5kgf/cm ² } (10%圧縮時)	JIS K 6911
	2.0N/mm ² {20kgf/cm ² } (30%圧縮時)	
	4.6N/mm ² {47kgf/cm ² } (50%圧縮時)	
硬さ	71 HbA 22 HbD	JIS K 7215

接着性

試験項目	試験結果	試験方法
曲げ接着強さ	7.1N/mm ² {72kgf/cm ² } (乾燥モルタル)	JIS A 6024
	5.3N/mm ² {54kgf/cm ² } (湿潤モルタル)	
H型引張接着強さ 伸び	1.4N/mm ² {14kgf/cm ² } (スレート+スレート) 52 %	JIS A 5758

耐薬品性

浸漬液	試験結果	試験方法
水	異常なし	20°C 7日間浸漬
5%食塩水	異常なし	
5%苛性ソーダ	異常なし	
飽和石灰水	異常なし	

各種被着材に対する接着性

材質	接着強さ N/mm ² {kgf/cm ² }	材質	接着強さ N/mm ² {kgf/cm ² }
軟鋼板	3.8 {39}	硬質塩ビ	3.0 {31}
アルミニウム	3.5 {36}	A B S	3.3 {34}
ステンレス	3.3 {34}	F R P	3.2 {33}
真鍮	3.7 {38}	アクリル	3.2 {33}
銅	3.7 {38}	ポリカーボネイト	2.7 {27}

※試験方法引張剪断強さ JIS K 6850

荷姿

1Set 12kg (主剤 4kg×2 硬化剤 2kg×2)

アルプロン Sシリーズ

弾性エポキシ樹脂

アルプロンSシリーズは高性能エポキシ樹脂をベースに弾性化する研究に取組み開発を進めてまいりました。

従来のエポキシ樹脂は物理的強度、化学的特性には優れています。しかし、硬くて脆いという問題がありました。この問題を解決し、柔軟かつ強靱な特性を有するアルプロンSを開発し、商品化いたしました。



建設省広島国道工事事務所共同溝ガス室目地コーキング

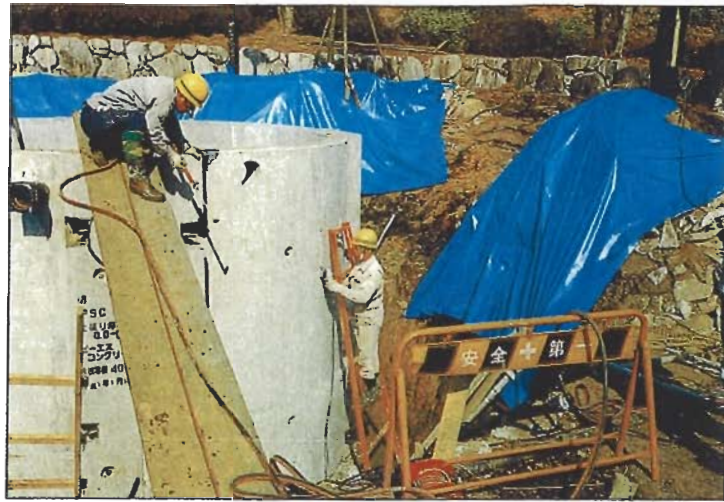


東京都新宿区戸山公園防火水槽目地コーキング



関西国際空港高松高架橋下部工共同溝目地コーキング

施工手順



下地処理
(サンダーケレン清掃)

養生
(養生テープ貼り付け)



プライマー塗布
(アルプロンW-305を刷毛塗り)

コーキング作業
(アルプロンSをヘラにて充填中)



注 意 事 項

- 主剤と硬化剤の二液混合タイプですからそれぞれ規定の配合比率を厳守して下さい。
硬化剤を多くしても速く硬化はしません、かえって物性低下を起します。
- 秤量した主剤(A液)と硬化剤(B液)をよく攪拌して均一になってから使用して下さい。
- 混合攪拌したものは可使時間内に使用して下さい。
攪拌すると化学反応が始まります。(その速度は温度が高いと速く、低い程遅くなり、
また一度の混合量が多いほど速く、少い程遅くなります。)
- 施工時の温度が5℃以下の場合は間接加熱によって温度を上げて下さい。
- 樹脂を使用するときは、火気、換気に充分注意して下さい。
- 直接皮膚に触れないようにして下さい。もし皮膚に触れたときは石けんでよく洗い落
して下さい。目に入った場合はすぐに水洗いし、医師の診察を受けて下さい。



日米レジン株式会社

本社・工場 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地 TEL(0724)38-0321(代) FAX(0724)38-0366
研 究 所

事業本部 〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目13-13(中央大和ビル2階) TEL(03)3563-2405(代) FAX(03)3563-2219
営業部・工事部 TEL(03)3561-5424~5

札幌営業所 〒002-8023 札幌市北区篠路三条4丁目5-15(北見東急篠路ビル) TEL(011)775-2220 FAX(011)775-2215

仙台営業所 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東3丁目4-8 TEL(022)287-1577(代) FAX(022)287-5526

名古屋営業所 〒485-0012 愛知県小牧市大字小牧原新田字樋下1371 TEL(0568)76-5678 FAX(0568)76-8590

大阪営業部 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地 TEL(0724)23-8363 FAX(0724)23-8366

福岡営業所 〒815-0031 福岡県福岡市南区清水1丁目16番8号(第2明永ビル2階) TEL(092)551-6871(代) FAX(092)551-6842

鹿児島営業所 〒891-0202 鹿児島県揖宿郡喜入町中名999-1 TEL(0993)45-2574 FAX(0993)45-3017

代理店